



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4480 号 2018.7.11 発行

発達障害の人に向く職業、向かない職業は何か

布施翔悟：清談社

ダイヤモンド 2018年7月10日

2018年4月に障害者雇用促進法が改正され、企業の雇用義務の対象に、発達障害を含む精神障害者が加わった。大人の50人に3人程度は発達障害といわれるが、個々の特性に合った職に就けば、彼らも十分にその能力を発揮できるという。そんな発達障害者に向いている職業、向いていない職業や、企業側の対応の仕方を、『となりの少年少女A』（河出書房新社）の著者で、約20年間、発達障害について取材しているジャーナリストの草薙厚子氏



に聞いた。（清談社 布施翔悟）

まずは発達障害を 正しく理解しよう

発達障害のある人々にとっては、視覚が重要。ホワイトボードなどにスケジュールやタスクを書いておくなどの工夫をすれば、ぐっとミスを減らせて働きやすくなる

近頃よく耳にするようになった発達障害。だが、一口に発達障害と言っても、大きく3つに分類され、それぞれその特性も異なる。

まず、ASD（自閉症スペクトラム）。かつては「自閉症」「広汎性発達障害」「特定不能型広汎性発達障害」

「アスペルガー症候群」などさまざまな名称が用いられていたが、現在ではそれらを総称して、「自閉症スペクトラム」と呼ばれている。

主な特性は、「コミュニケーションの障害」「社会的なやりとりの障害」「こだわり行動」の3つ。一言で言えば「空気が読めない」。相手の表情やしぐさからサインを読み取ることができないため、スムーズに意思の疎通ができず、たとえ話や冗談も通じない。これが、社会生活を送る上で相当な障壁になることは想像に難くない。

次にADHD（注意欠陥・多動性障害）。不注意、落ち着きがない（多動性）、よく考えずに行動する（衝動性）という3つの特性がある。極端に遅刻や忘れ物が多い、デスクが片付けられない、頻繁に貧乏揺すりをする、周囲に指示を仰がずに勝手に行動する、などが特徴だ。

最後にLD（学習障害）。知的能力全般に遅れはないものの、「読む」「聞く」「話す」「書く」「計算する」「推論する」など、学習に関わる能力や機能において、特定の能力の実行が困難な状態のことを指す。

有名人では、俳優のトム・クルーズもLDとして知られている。彼は文字の意味を脳内で認識したり、理解したりするのに時間を要する「失読症」というLDで、映画の台本などは第三者に音読してもらうことでセリフを覚えているのだという。

それぞれの特性から分かる 向く職業、向かない職業

では、それぞれに向いている職業、向いていない職業には、どのようなものがあるのか。

「まず、ASDの人に向いているのは『コミュニケーションをあまり必要としない職業』です。例えばプログラマーなどのコンピューター関連の仕事が挙げられるでしょう。また、

なにか 1 つの物事に対して抜群の集中力を発揮する、という特性も持っているので、研究者、校正・校閲のような、スペシャリスト的な仕事に向いています。単純な入力作業など、同じことを何回も繰り返すような仕事にも向いているでしょう」(草薙氏、以下同)

逆に、コミュニケーション能力を要するような職業や、マルチタスク能力を要する職業、臨機応変に対応しなければならない職業などには向いていない。具体的には接客業や営業職、教師などがこれに当たる。また、様々な業務を並行するマルチタスク能力が必要な一般事務や電話オペレーターなども難しそうだ。

ADHDの人は、職種以前に、まずは自分の興味のある分野から仕事を探すべきだという。

「何事にも強い動機づけが必要なADHDの人には、その人が興味を持っている分野の職業が向いています。得意だ、好きだ、という明確な意思があれば、そのハンディを克服できるでしょう。また、興味の対象が移り変わりやすいので、その日によって扱う物事が変わるような職業が向いています。具体的に挙げるならば、ジャーナリストなどのマスコミ関係、芸能人、個人経営の貿易商などです。逆にマルチタスク能力を必要とする職業は不向き。また、継続した集中力が求められる、工場の流れ作業のような仕事も難しいでしょう」

LDの人は全体像を読み取る 能力に長けている

3つ目のLDの人は、全体像を読み取る力に長けているため、視覚的な仕事に向いている。「建築家、彫刻家、カメラマン、デザイナー、俳優、シェフ、アニメーターなどが向いています。細かい情報を読み取るのは苦手かもしれませんが、そのぶん、記号として視覚的に物事を認識できる仕事がいいのでしょう」

ただし、LDの人は苦手な能力が人それぞれ異なるため、一概に言うことはできない。何が苦手なのかをしっかりと把握した上で職業選択に臨む必要があるという。

注意したいのはASDとADHDを併発しているといったケースもあることだ。もし併発している場合は、特にどの症状が強く出ているのかをより見極め、「絶対にできないこと」をあぶり出す必要がある。

一方、企業側もこれからますます発達障害者への対応が必要になってくるわけだが、草薙氏は、「大企業の場合は、特例子会社をつくるのが得策」だという。

発達障害者と共に働くには タスクの視覚化が有効

「特例子会社というのは、障害のある人の雇用の促進や、安定を図るために設立された会社のこと。正社員 46 人以上の民間企業につき法定雇用率の 2.2%の障害者を雇用しなければなりません。一定の要件を満たせば、この数字は系列会社も含めてのものなので、グループの障害者雇用を、特例子会社でまとめて請け負うこともできるのです。あらかじめ障害があると分かっているならば、障害のない人との衝突を避けることができますし、雇用された障害者側も、時短などを含め個々の能力に合った仕事を行うことができます。雇用主と障害者の双方にメリットがあるのです」

とはいえ、小資本の中小企業が特例子会社を設立するのは簡単ではないだろう。そこで、実際に発達障害者と一緒に働く際の、具体的な配慮の仕方を聞いた。

「発達障害のある人々にとって重要なのは視覚。なので、大きなボードにスケジュールや重要なタスクを書いておくなどの工夫をすれば、発達障害者にありがちな、業務の抜け落ちを減らすことができるでしょう。また、特にASDの人は急な変化に対応するのが苦手。突然『これ、処理しておいて』と言われてもパニックになってしまいます。比喻も苦手なので、この場合、『処理する』ことが捨てることなのか、仕事を終わらせることなのか分かりません。従って、指示をする際は『今やっている仕事は中断してください。いつ、どこで、どうやって、何時何分までに、〇〇の集計を終わらせておいて』と、かなり具体的に言う必要があります」

発達障害者は一見、障害があるようには見えないことも多いが、障害がない人との間には、薄い膜のような隔りがある。一見破れそうで破ることができない、双方がもどかし

く感じる隔たりだ。

発達障害がある人々は、自らの適性をしっかり把握した上で職業を選ぶべきであり、雇用主側は、発達障害という特性を理解し、ケアをする必要がある。双方が歩み寄ることで、共存が可能になっていくはずだ。

東京都大田区、全国初「マイナンバーカードセンター」 日経 xTECH 2018年7月5日 大田区マイナンバーカードセンター



東京都大田区は2018年7月4日、「大田区マイナンバーカードセンター」を開設した。区民へのマイナンバーカードの申請案内やカードの受け渡し、マイナンバー通知カード再発行などの業務を専門に扱う窓口で、専門窓口の設置は全国の自治体で初めて。

同センターは平日午後7時までの夜間や土日（第3土曜・日曜や祝日、年末年始を除く）も開庁し、平日の日中の時間帯に手続きをするのが難しい区民も利用できる。JR大森駅から徒歩1分というアクセスしやすさが特徴で、マイナンバーの総合サイト「マイナポータル」を利用できるブースを設置したほか、子育て世帯が利用しやすくした。

事前予約すれば顔写真の撮影や申請の手助けも行う。大田区は毎月2500枚程度のカードの申請があり、「うち300～400枚は申請の手助けを行って増えている」（大田区区民部戸籍住民課）という。（日経 xTECH/日経コンピュータ 大豆生田崇志）

避難所生活で知ってほしい

NHKニュース 2018年7月10日

西日本を中心とした記録的な豪雨の被災地では、多くの人が避難所での生活を余儀なくされています。慣れない生活で疲れがたまる中、厳しい暑さなどによって体調を維持するのが難しい状況だと思えます。避難所で生活する人たち、そして、サポートする人たちに知ってほしい注意点と対策です。（ネットワーク報道部）

トイレを我慢せず水分を

被災地では日中の最高気温が各地で30度を超えるところが相次いでいます。

まず、水分をこまめに補給してください。

トイレは我慢しないでください。

便秘やぼうこう炎などになったり、脱水症状につながったりするおそれもあります。

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町の保健師に聞いたところ、慣れない避難所の生活では「トイレに行きづらい」と食事や水分をとることを控えようとする人もいるということです。

トイレを我慢しないためにできるいくつかの工夫です。

医療関係者などで作る東京のNPO法人、「日本トイレ研究所」のホームページによると例えば、ゴミ袋や新聞紙を大量に用意して、袋に新聞紙を入れたものを簡易型のトイレにして、袋ごと捨てる方法が有効です。

バケツなどの水で、トイレを流す場合は、排せつ物だけを流し、紙を別の場所に捨てるようにしないと、配管が詰まるおそれがあります。

女性などが使いやすいように、囲いなどを作ってプライバシーを保つようにしたり、お互いに声をかけあったりして、トイレに行きやすい環境をつくることも大切だということです。



NPOは、こうした情報を「日本トイレ研究所」のホームページで公開しています。アドレスは <https://www.toilet.or.jp> です。

高齢者や小さな子ども連れの避難者には目配りを
7年前の東日本大震災では、被災地の避難所や仮設住宅で熱中症になる人が相次ぎました。屋外で活動するボランティアも熱中症とみられる症状を訴えるケースも出ました。



宮城県南三陸町の保健師によりますと、高齢者は体温の調節機能が落ちてくるため、暑さを自覚しにくく、体温が上がっていることに気づかず、熱中症になりやすいということです。

また、「みんな災害で大変だから」という思いから、体調が悪いにもかかわらず、そのことを周囲に言わないままにする人が多くいるということです。

周りにいる人たちが高齢者や小さな子どもを抱える親などに定期的に声をかけて体調が悪化していないか、サインを見逃さないことも大切です。



速乾性のタオルをぬらして首元に

うちわなどであおぐだけでも熱中症の対策になるそうですが、疲れがたまっている高齢者などの中には、それすら難しいこともあるということです。

災害時の避難所の実態に詳しい、「災害リスク評価研究所」の松島康生代表は速乾性のタオルを水でぬらして、首元にあてるだけでも体温を下げて熱中症の対策になるとしています。

一方で、乾きにくいタオルでは体を必要以上に冷やしてしまう可能性があるため、注意が必要だということです。

冷房の無い避難所は風通しよく

また、松島さんによりますと、冷房がない避難所は、風通しをよくすることが大切ですが、体育館などの小窓には網戸がなく、蚊やハエなどが入ってくるため、窓を開けないままのこともあるそうです。



そうした場合は虫の侵入を防ぐことができる網目のものを窓のそばに置いて、虫の侵入を防ぎ、風通しをできるだけよくすることも大切だとしています。

さらに避難所から外出する際には帽子をかぶったり、定期的に日陰に入ったりするよう勧められています。

食中毒に注意を

熊本地震では避難所になっていた熊本市の小学校で、避難していた人たちが腹痛などの症状を訴えました。避難所の昼食に提供されたおにぎりから食中毒を引き起こす細菌、「黄色ブドウ球菌」が検出されたことから、保健所は、このおにぎりが原因の集団食中毒と断定しました。



宮城県南三陸町の保健師は、おにぎりを握る際などは使い捨ての手袋やラップフィルムなどを使って握ることが大切で直接、素手で握ったり、食品に触れたりしないしてほしいとしています。

大事な食べ物でも捨てるという選択肢も

さらに、作った食事を長時間、置いたままにしないようにすることも大切だと話していま

す。

また食事が残った場合、冷蔵庫に入れたり、食品を再加熱したりして温度管理を徹底して保存することが大切だということです。

冷蔵庫などがない場合は、提供されたものの食べなかった食事は、食中毒を防ぐためにも思い切って捨てるという選択肢も必要だとしています。

「もったいない」と食べきれなかった食事を長時間、手元に置く人もいますが、食中毒を予防するためには時には必要な判断だということです。

感染症の予防を

国立感染症研究所は、避難所で広がりやすいインフルエンザや急性胃腸炎などの感染症の予防方法をホームページにまとめています。

- ・ **空気が乾燥する避難所ではマスクの着用 「せきエチケット」の徹底を**
- ・ **せきやくしゃみをする際に手で口を覆うとその手から感染が広がるため、必ずタオルなどで口を覆う**
- ・ **覆うものがなければ、自分のひじの内側で口元をおさえる**
- ・ **人のほうを向いてせきやくしゃみをしない**
- ・ **手を清潔に保つため水がない場合には避難所に速乾性のアルコール消毒剤やウェットティッシュなどを置く**
- ・ **食事の準備や食前、排せつのと、赤ちゃんのおむつを交換したあとには必ず手洗いや消毒を**

体を動かす

避難所で体を動かさない生活が続くことで、心身の機能が低下する、いわゆる「生活不活発病」に注意が必要です。「日本理学療法士協会」は予防方法を示したマニュアルを作り、協会のホームページで公開しています。

- ・ **体を動かすことを心がける**
- ・ **日中ずっと横にならない**
- ・ **歩きやすい通路を確保するため、身の回りを片づける**
- ・ **一度に多くの運動をせず少ない量を回数多く行う**
- ・ **歩くことができない人は、ひざの曲げ伸ばしをするなど体の状態に応じた簡単な運動をする**

「日本理学療法士協会」は、「生活不活発病は、本人も気づかないうちに症状が進行していく。避難所では、周りの人も高齢者の状態の変化に気を配ってほしい」と話しています。ホームページのアドレスは、<http://www.japanpt.or.jp/>です。

頑張りすぎないで

避難所生活が長引けば、体だけでなく心の疲れもたまります。「不自由なことや体の疲労があっても、わがままを言うてはいけません」と我慢していませんか。何か困ったことがある場合は、行政の担当者やボランティアなどに相談し、ひとりで抱え込まないようにしてください。

避難所で生活する際やボランティアとして避難所で活動する機会があったときは、具合が悪くなる兆候がある人がいないかどうか、自分自身が気づかない間に体調を崩していないかどうか、注意してください。松島さんは「避難所では周囲の目があるが自宅に避難している高齢者などは周囲が気づきにくい。自宅に避難している高齢者は特に熱中症に注意が必要で、見回りなどが大切になってくる」と話しています。

西日本豪雨 ボランティア「待つ」 受け入れ態勢整わず

毎日新聞 2018年7月10日

西日本を中心にした豪雨災害は、日を迫うごとに甚大な被害の実態が明らかになってきた。被災地にはボランティアの問い合わせが相次ぐが、周辺にはまだ危険な場所が多く、

高速道路の通行止めも目立つ。専門家は「今後すぐに延べ数十万人規模のボランティアが必要になる」と指摘するが、「今は受け入れ先の承諾がない限り、直接被災地に行ったり支援物資を送ったりしないでほしい」と冷静な対応も求める。

西日本高速道路によると、広島県などで高速道路の多くが寸断。復旧のめどが立っていない区間は少なくとも全国で7区間に上る。山陽道は1週間程度で全通する見通し。被災地周辺の一般道も土砂崩れなどで通行止めが相次ぎ、流木なども残る。車での乗り入れは危険な場所もあり、交通渋滞を起こす恐れもある。

岡山県倉敷市によると、浸水被害が出た真備町地区そばの川辺橋付近に、大量の救援物資が一時無断で置かれ、救助に向かう自衛隊の通行の妨げになった。市は「受け入れ態勢が整うまで、今は個人での物資送付は待ってほしい。準備でき次第、情報を公開する」と呼びかけている。

全国社会福祉協議会（東京都）の担当者は「準備が整えば、各社協のホームページなどでボランティアの案内を出す。現地の業務に支障が出るので、なるべく個人の問い合わせは控えてほしい」と話した。

過去の災害では、宿泊先や交通手段を確保しないまま現地に支援に入り、ボランティアが混乱を広げたケースもある。

災害ボランティアに詳しい長岡技術科学大の松田曜子准教授（地域防災）は「被災地への関心を持ち続けることが大切だ」と指摘。「今後すぐに多くのボランティアが必要になるので少しの間待ってほしい」と慎重さも求めた。

被災地については「善意で送られた物資を断れない。仕分けにかえって人手を要するので、相手の承諾がない限り直接送らない方が良い」と話し、義援金の活用も提案した。【芝村侑美、山下貴史】



西日本豪雨 「見捨てたりしない」市井の人、救助に奔走 毎日新聞 2018年7月10日

西日本を襲った記録的な豪雨により多くの命が犠牲になった。一方で、一度は死を覚悟しながら名も知らぬ人に助けられた夫婦や、危機的な状況から九死に一生を得た家族もいる。無事だった人々は命の重みをかみしめつつ、周囲の犠牲者に思いを寄せている。

自前のボートで救助にあたる男性ら＝岡山県倉敷市真備町地区で2018年7月8日午後0時22分、林田奈々撮影

堤防が決壊し2400人以上が一時孤立した岡山県倉敷市真備町地区では、複数のボートが住民を助けて回った。「困った時はお互いさま」。名乗ることもなく救助に奔走した無名の人々に、住民たちは「一言でもお礼が言いたい」と感謝の思いを募らせている。

7日午後、同地区の親族宅に避難していた天辰（あまたつ）義輝さん（78）は、2階で親族4人と肩を寄せ救助を待っていた。激しい雨の中、目に障害のある三女（44）と足の不自由なおい（54）を連れて避難することはできなかった。

そこに水色のボートに乗った3人組の中年男性が現れた。「助けてくださいーい」。天辰さんが懸命に手を振ると、ボートが寄ってきた。ただ、周囲には助けを待つ高齢者がたくさ



んいた。「そちらを先に」と頼むと、日焼けした一番年長の男性は「見捨てたりしないから心配せんでいいよ」と励ましてくれた。再びボートが現れ、救出されたのは午後5時ごろ。「あの人たちがいなければ、私たちはここにいない。感謝してもしきれない」と話す。

7日早朝に平屋建ての自宅の天井近くまで水につかった野瀬達雄さん（85）は、妻と天井裏に逃げ込んだ。高さ1.5メートルの隙間（すきま）に腹ばいになって救助を待ったが、誰も来ない。「もう終わりじゃな。今生のお別れじゃ」。妻につぶやいたその時、天井裏の小窓から、黄色のゴムボートが近付いてくるのが見えた。「助けてくれー」。声に気付いた登山帽をかぶった50代くらいの男性2人が、窓から助け出してくれた。男性らは岡山市から来たと話したが、連絡先を聞く余裕もなかった。野瀬さんには2人に伝えたい言葉がある。「ありがとう。命の恩人です」【林田奈々】

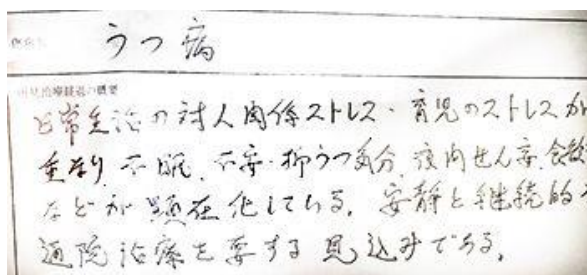


「20年間ありがとうございました」 松山の障害者支援施設の文芸部 最後の文集発行 愛媛新聞 2018年7月11日
アイル文芸部で長年指導した山本さん（左）と山田さん
アイル文芸部の最終号（左）と山田さんの作品集

愛媛県松山市中野町の障害者支援施設「アイル」の利用者が集う文芸部がこのほど、約20年を経て最終号「風になる」を発行した。外部講師の山本典子さん（64）＝松山市南梅本町＝の転居が決まったため文芸部の活動が終わり、施設利用者の山田良行さん（61）ら部員は最後の文集に思いを寄せている。



「明日どう生き延びれば」 未就学児調査 母子で受診できぬ事も



琉球新報 2018年7月10日
支援者に勧められて受診した精神科病院で、うつ病と診断された女性の診断書。これまで受診を控え、市販薬でやり過ごしてきた

沖縄県の未就学児調査では、子どもの受診控えが5歳で2割に上り、保護者自身が医療機関に行けなかったと答えた割合が4割を超えた。本島南部に住む小3と4歳、2歳の3人の子どもがいる32歳の女性

も、夫のつくった借金が原因で、子どもや自分自身の病院受診を諦めた経験を持つ。

ぜんそくのある上の子の治療を優先するため、夫からDVを受けた傷や抑うつも市販薬でやり過ごした。それでも、下の子を歯科などの医療機関に行かせることはできなかった。

世帯収入は「低所得2」（122万円～183万円未満）に該当する。建築業の夫がギャンプルにはまってからは、毎月の給料の半分にあたる7万円しか家計に入れなくなり、会社員だった女性の育児休業給付金とカードローンでどうにかやりくりした。職場復帰しようにも、子どもを認可保育所に入れることができず、育休を延長せざるを得なかった。

昨年末、夫の給料が消費者金融に差し押さえられ、さらに生活が崩れた。受診どころか、家賃や光熱費を払えず、食料や衣料も満足に買えなくなった。「明日はどうやって生き延びよう…」と悩み、夜も眠れなくなった。

上の子のランドセルなどは、最初の夫と離婚してひとり親となっていた時に受給した児童扶養手当を充てた。支援団体を通して就学援助制度の存在を知ったのは、上の子が小2になってからだ。「もっと早く制度につながりたかった」と悔やむ。2番目の子も数年で小学生になる。入学費用が何より気掛かりだ。

女性は今年、支援団体の勧めで精神科病院を受診し、うつと診断された。診断書を提出したことで、子ども2人は認可保育所へ入所できることになった。4月に夫と離婚し、安眠できるようになったが、今も週の半分は体調が悪く、満足に動くことができない。上の子に下のきょうだいの世話を頼むことも多い。

行政に望むこととして「オムツや米など日用品を回数制限なく現物支給してもらえると助かる。認可保育園の入園もハードルを低くしてほしい」と訴えた。

吉岡里帆 川栄李奈の発言に「たまらない気持ち」 毎日新聞 2018年7月9日

女優の吉岡里帆さんが9日、東京都内で行われた主演連続ドラマ「健康で文化的な最低限度の生活」(カンテレ・フジテレビ系、火曜午後9時)の会見に、共演の川栄李奈さんらと出席。「これがあれば“最低限度の生活”ができるもの」を聞かれた川栄さんが「朝、撮影現場に来て、爽やかに『おはよう』って言ってくれる里帆ちゃんや、いつも山田(裕貴)君が笑わせてくれる(こと)」と答えると、吉岡さんは「たまらない気持ちになりました」と照れ笑い。「川栄ちゃんとは同年代で、くたくたになるほど忙しいのに、いつも一生懸命で明るくて元気をくれる」と感謝していた。

ドラマは、マンガ誌「週刊ビッグコミックスピリッツ」(小学館)で連載中の柏木ハルコさんの同名マンガが原作。吉岡さん演じる“生活保護受給者”を支援する新人ケースワーカーの義経えみるが、何らかの事情で生活に困り“生活保護”を受けている受給者たちのさまざまな人生に向き合いながら、自立させようと奮闘する姿と成長を描く。会見には、吉岡さん、川栄さんのほか、共演の山田さん、井浦新さん、田中圭さん、遠藤憲一さん、ドラマの脚本を担当する矢島弘一さん、米田孝プロデューサーも出席した。



連続ドラマ「健康で文化的な最低限度の生活」の会見に出席した吉岡里帆さん

ケースワーカーにちなみ、自身にとっての「頼れる存在」を聞かれた吉岡さんは「井浦新さん。(撮影の合間に)1日が25時間あったら、1時間何に使いますかと聞いたら『本を読んだり、家族と過ごしたり、1時間多く寝たい』って答えてくれました。質問をした1時間後に『もう一回よく考えたんだけど“残りの1時間は意識的に何もしない”』って。吉岡さんが、もしそう答えたら、今後、取材されたときに使えるんじゃないかって(笑い)。そんなところまで考えてくれた優しさが、本当にすてきだなって感じました」と笑顔で明かした。井浦さんは、吉岡さんについて「座長として心配していることは何もありません。僕は手放して頼っています」と絶賛。井浦さんも「頼れる人」を聞かれると「田中圭君。誰よりも滑舌がいい」と答え、田中さんを照れ笑いさせていた。

吉岡さんは、ドラマについて「本当に明るく、夏にぴったりの題材だと、原作を読みながら感じています。シビアな内容ではありますが、ストーリーは温かみのある、人間の大事な部分をとっても丁寧に描いています。一つずつ積み重ねたシーンは必ず一つにつながったときに、見てくださった人の心に残ると思います」とアピールしていた。



「健康で文化的な最低限度の生活」は、17日から毎週火曜午後9時に放送。初回は20分拡大版。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行